

JIS

オーバーヘッドドア構成部材

JIS A 4715 : 2002

(JSDA/JSA)

(2007 確認)

平成 20 年 3 月 20 日付け追補 1 あり

平成 14 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会 標準部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菅原進一	東京大学大学院工学系研究科
(委員)	岩田誠二	社団法人日本建材産業協会
	大野和男	住宅金融公庫住宅環境部
	勝野奉幸	財団法人建材試験センター中央試験所
	酒井勝之	社団法人日本アルミニウム協会(三菱アルミニウム株式会社)
	櫻井誠二	日本保温保冷工業協会(ニチアス株式会社A・E事業本部)
	佐野真理子	主婦連合会
	三宮好史	社団法人日本鉄鋼連盟
	辻井剛	社団法人建築業協会(大成建設株式会社技術センター)
	春田浩司	国土交通省大臣官房官房営繕部
	松井勇	日本大学生産工学部
	三沢真	国土交通省住宅局
	山内泰之	独立行政法人建築研究所

主務大臣：経済産業大臣 制定：平成 6. 2. 1 改正：平成 14. 2. 20

官報公示：平成 14. 2. 20

原案作成者：社団法人 日本シャッター・ドア協会（〒102-0073 東京都千代田区九段北 1 丁目10-5 TEL 03-3288-1281）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目1-24 TEL 03-5770-1573）

審議部会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：建築技術専門委員会（委員長 菅原 進一）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本シャッター・ドア協会(JSDA)/財団法人日本規格協会(JSA)から工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

白 紙

オーバーヘッドドア構成部材

A 4715 : 2002

Components of sectional overhead door

1. **適用範囲** この規格は、建物及び工作物に使用するオーバーヘッドドア構成部材⁽¹⁾ (以下、構成部材という。)について規定する。

注⁽¹⁾ まだ組み立ててない状態のもの。

なお、組み立てたオーバーヘッドドアを、以下、ドアという。

備考 オーバーヘッドドアとは、開口部に対して上下に組み立てられた複数のセクションを天井又は壁に沿って、ほぼ水平又は垂直に送り込んで収納するドアをいう。

2. **引用規格** この規格の引用規格を付表1に示す。付表1に示す規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

3. **構成部材の名称** 構成部材の名称は、次による[a)~u) 図1~図4参照]。

- a) セクション
- b) 操作ロープ
- c) ウェザーストリップ
- d) センターヒンジ
- e) ローラヒンジ
- f) ボトムヒンジ
- g) ローラ
- h) ロック
- i) ラッチボルト
- j) ラッチワイヤ
- k) 明り窓
- l) スプリング
- m) シャフト
- n) ワイヤドラム
- o) ワイヤロープ
- p) ブラケット
- q) ガイドレール
- r) 電動開閉機(図2, 図3参照)
- s) 電装品(制御盤, 押しボタンスイッチ, リミットスイッチ, 光電センサ)(図2, 図3参照)
- t) シャフトローラチェーン, シャフトsprocket(図3, 図4参照)
- u) チェーンホイスト, ハンドチェーン(図4参照)